

スコアシート		実施設計段階					
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄					全体	
		評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質						3.4	
Q1 室内環境			0.40		-	4.2	
1 音環境			0.15	3.0	1.00	3.0	
1.1 室内騒音レベル		-	-	3.0	0.50		
1.2 遮音		-	-	3.0	0.50		
1 開口部遮音性能		-	-	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20		
1.3 吸音		-	-	-	-		
2 温熱環境			0.35	5.0	1.00	5.0	
2.1 室温制御		-	-	5.0	1.00		
1 室温		-	-	-	-		
2 外皮性能		全住戸の外皮性能、断熱等級5を達成	-	5.0	1.00		
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-		
2.2 湿度制御		-	-	-	-		
2.3 空調方式		-	-	-	-		
3 光・視環境			0.25	3.7	1.00	3.6	
3.1 屋光利用			1.00	3.5	0.50		
1 屋光率		代表住戸のLD屋光率1.56%	-	4.0	0.50		
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30		
3 屋光利用設備		-	3.0	3.0	0.20		
3.2 グレア対策			-	4.0	0.50		
1 屋光制御		カーテン、庇にてグレア対策を行なっている	-	4.0	1.00		
3.3 照度		-	-	-	-		
3.4 照明制御		-	-	-	-		
4 空気質環境			0.25	4.3	1.00	4.4	
4.1 発生源対策			1.00	5.0	0.63		
1 化学汚染物質		全面的にF☆☆☆☆、VOC放散量が少ない建材を採用している	5.0	5.0	1.00		
4.2 換気			-	3.3	0.38		
1 換気量		-	-	3.0	0.33		
2 自然換気性能		代表住戸の最不利居室にて1/8以上の開閉可能な窓を計画	-	4.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮		-	-	3.0	0.33		
4.3 運用管理			-	-	-		
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-		
2 喫煙の制御		-	-	-	-		
Q2 サービス性能			0.30		-	2.8	
1 機能性			0.40	2.6	1.00	2.6	
1.1 機能性・使いやすさ			0.40	3.0	0.60		
1 広さ・収納性		-	-	-	-		
2 高度情報通信設備対応		-	-	3.0	1.00		
3 バリアフリー計画		高齢者配慮対策等級3	4.0	-	-		
1.2 心理性・快適性			0.30	2.0	0.40		
1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-		
3 内装計画		-	1.0	1.0	0.50		
1.3 維持管理			0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		-	3.0	0.50	-		
2 維持管理用機能の確保		-	3.0	0.50	-		
2 耐用性・信頼性			0.30		-	3.0	
2.1 耐震・免震・制震・制振			0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		-	3.0	0.80	-		
2 免震・制震・制振性能		-	3.0	0.20	-		
2.2 部品・部材の耐用年数			0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数		劣化対策等級3を確保	5.0	0.20	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		-	2.0	0.20	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		更新必要間隔の長い仕上げ材(クロス材)を使用	4.0	0.10	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		-	3.0	0.10	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水・給湯:架橋ポリエチレン管、排水:硬質塩ビ管を使用	4.0	0.20	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		-	2.0	0.20	-		
2.4 信頼性			0.20		-		
1 空調・換気設備		-	3.0	0.20	-		
2 給排水・衛生設備		-	2.0	0.20	-		
3 電気設備		-	3.0	0.20	-		
4 機械・配管支持方法		-	3.0	0.20	-		
5 通信・情報設備		-	2.0	0.20	-		

3 対応性・更新性			3.0	0.30	3.1	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり			-	-	3.2	0.50	
1 階高のゆとり	階高2.9m確保		-	-	4.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ	-		-	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00		-	
1 空調配管の更新性	-		3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性	-		3.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性	-		3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性	-		3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性	-		3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保	-		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	-		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.9
1 建物外皮の熱負荷抑制	全住戸断熱等級5を達成		4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用	-		2.0	0.10	-	-	2.0
3 設備システムの高効率化	住棟一次エネ削減率32%達成		4.7	0.50	-	-	4.7
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
集合住宅の評価			4.7	1.00	-	-	
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング	-		-	-	-	-	
4.2 運用管理体制	-		-	-	-	-	
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング	-		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	-		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水	節水型水栓に加えて節水型便器を採用している		4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無	-		3.0	1.00	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無	-		-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.7	0.60	-	-	2.7
2.1 材料使用量の削減	-		2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用	-		3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-		1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	-		3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄下地+仕上げ材で分別が容易になっている		4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-		3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1 消火剤	-		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	-		3.0	1.00	-	-	
3 冷媒	-		-	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率が、一般的な建物以下		4.5	0.33	-	-	4.5
2 地域環境への配慮			2.8	0.33	-	-	2.8
2.1 大気汚染防止	-		3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善	-		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減	-		3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制	-		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	-		3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制	-		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音	-		3.0	1.00	-	-	
2 振動	-		-	-	-	-	
3 悪臭	-		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制	-		3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制	-		-	-	-	-	
3 日照阻害の抑制	-		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインチェックリストを一部満たしている		4.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-		3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	3.0		○	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	4.0		-	-	-	-	○	-	○	○	-	-	-	○	-
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	1.0		-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	7.0		-	-	2.0	-	1.0	1.0	1.0	-	1.0	1.0	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0		-	-	-	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	8.0		-	2.0	-	2.0	-	-	-	2.0	2.0	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	10.0		1.0	-	-	3.0	2.0	-	-	1.0	3.0	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	1.0		-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0		1.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標	
Q1 室内環境	
2.1.3 外皮性能	窓システムSC - 窓の日射熱取得率(η) - U値(W/m2K) 窓システム - 屋根 - 外壁 - 床 - 住戸部分 窓システムU値 - 外皮UA値 0.5 η AC 1.3 η AH -
3.1.1 昼光率	昼光率 1.6%
4.2.2 自然換気性能	自然換気有効開口面積率 13.7%
Q2 サービス性能	
1.1.1 広さ・収納性	執務スペース 0.0㎡/人 病床 0.0㎡/床 シングル 0.0㎡ ツイン 0.0㎡
1.1.2 高度情報通信設備対応	コンセント容量 0.0 VA/㎡
1.2.1 広さ感・景観	天井高 2.4 m
1.2.2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペース 0.0% レストスペース 0.0%
2.2.1 躯体材料の耐用年数	想定耐用年数 75~90 年
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	想定必要間隔 15 年
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	想定必要間隔 20 年
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔	想定必要間隔 10 年
3.1.1 階高のゆとり	階高 2.9 m
3.1.2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率 64.2%
3.2 荷重のゆとり	床荷重 - N/m2
Q3 室外環境(敷地内)	
1 生物資源の保全と創出	外構緑化指数 34% 建物緑化指数 0%
3.2 敷地内温熱環境の向上	空地率 76% 水平投影面積率 4% 地表面対策面積率 28% 舗装面積率 46%
LR1 エネルギー	
1 建物外皮の熱負荷抑制	BPI/BPI _m - 断熱等性能等級 等級5 相当
2 自然エネルギー利用	自然エネルギー直接利用量 0 MJ/年㎡ 採光を満たす教室数 0.0% 採光を満たす住戸数 66.6% 通風を満たす教室数 0.0% 通風を満たす住戸数 66.6%
3 設備システムの高効率化	太陽光 49.2kW 太陽熱等 0kW 蓄電池 0kW
非住宅部分	BEI/BEI _m 再エネ有 - 無 - オフサイト再エネ有 - -
集合住宅の評価	一次エネ削減率 再エネ有 32% 無 27% -
LR2 資源・マテリアル	
1.2.1 雨水利用システム導入の有無	雨水利用率 0.0%
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	特定調達品目 - エコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 -
2.5 持続可能な森林から産出された木材	使用比率 -
3.2.1 消火剤	オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)
3.2.2 発泡剤(断熱材等)	オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)
3.2.3 冷媒	オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)
LR3 敷地外環境	
2.2 温熱環境悪化の改善	見付面積比 130% 隣棟間隔指標Rw 0.91 地表面対策面積率 35.0% 屋根面対策面積率 #DIV/0! 外壁面対策面積率 #DIV/0! 見付面積Sb 364㎡ 卓越風向と直交する最大敷地幅Ws 28.821 m 基準高さHb 9.667 m 緑地 565㎡ 水面 ㎡ 保水性対策面 ㎡ 高反射対策面 ㎡ 再帰性反射対策面 ㎡